

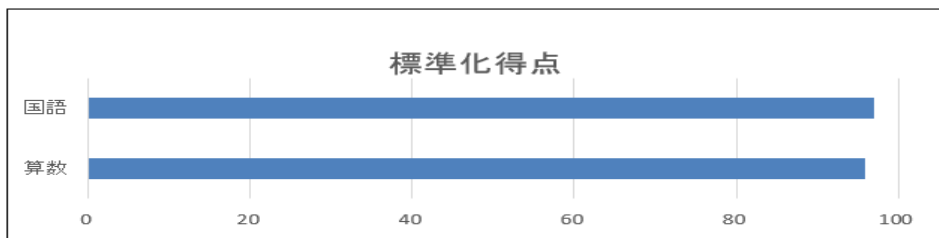


## 「学力・学習状況調査」の結果概要と今後の取組について

本年4月に6年生を対象に実施された「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。

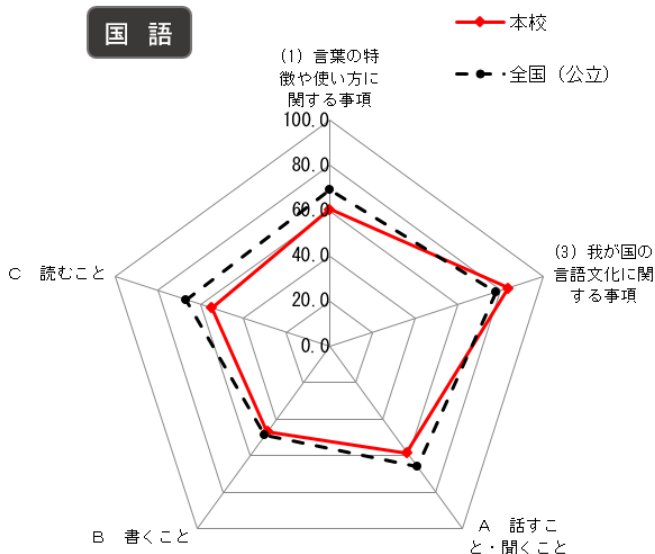
本校では、実施終了後、全教員で解答を採点し、結果を分析し、今後の授業改善にいかしています。解答用紙からは、記述式の文章で説明する問題でも、子どもたちが諦めずに最後まで解答しようとするがんばりが感じられました。また、学校運営協議会でも調査結果をお伝えし、ご意見をいただきました。今後は、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実していきたいと思ひます。

### 1 各教科の調査結果から

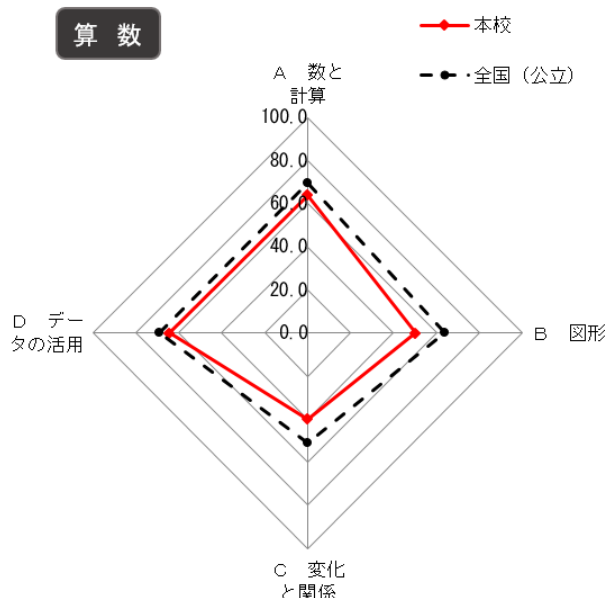


※標準化得点とは  
全国平均が100、標準  
偏差が10となるよう  
標準化された得点

#### 国語



#### 算数



上の表のように、平均正答数では国語・算数ともに県や全国を上回ることができませんでした。しかしながら、各教科の領域別（分野）で全国と比べると、上のグラフのように国語では「我が国の言語文化に関する事項」の領域で全国を上回ることができました。

#### ○ 設問ごとの結果からわかった本校の子どもたちの強み

国語

表現の効果を考える。

国語

文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。

算数

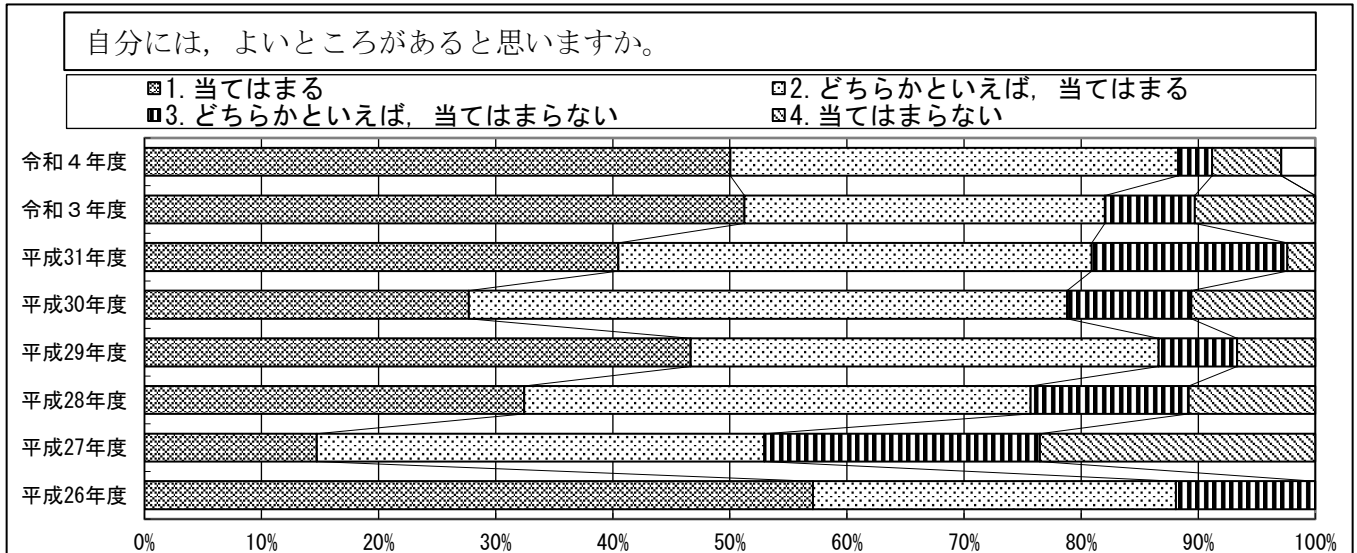
示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。

#### ● 設問ごとの結果からわかった本校の子どもたちに今後つけていかななくてはならない力

- 国語 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える。
- 国語 登場人物の相互関係について、描写を基に捉える。
- 算数 図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解している
- 算数 百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる
- 算数 加法と乗法の混合したポイント数の求め方を解釈し、ほかの場合のポイント数の求め方と答えを記述できる。
- 算数 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。

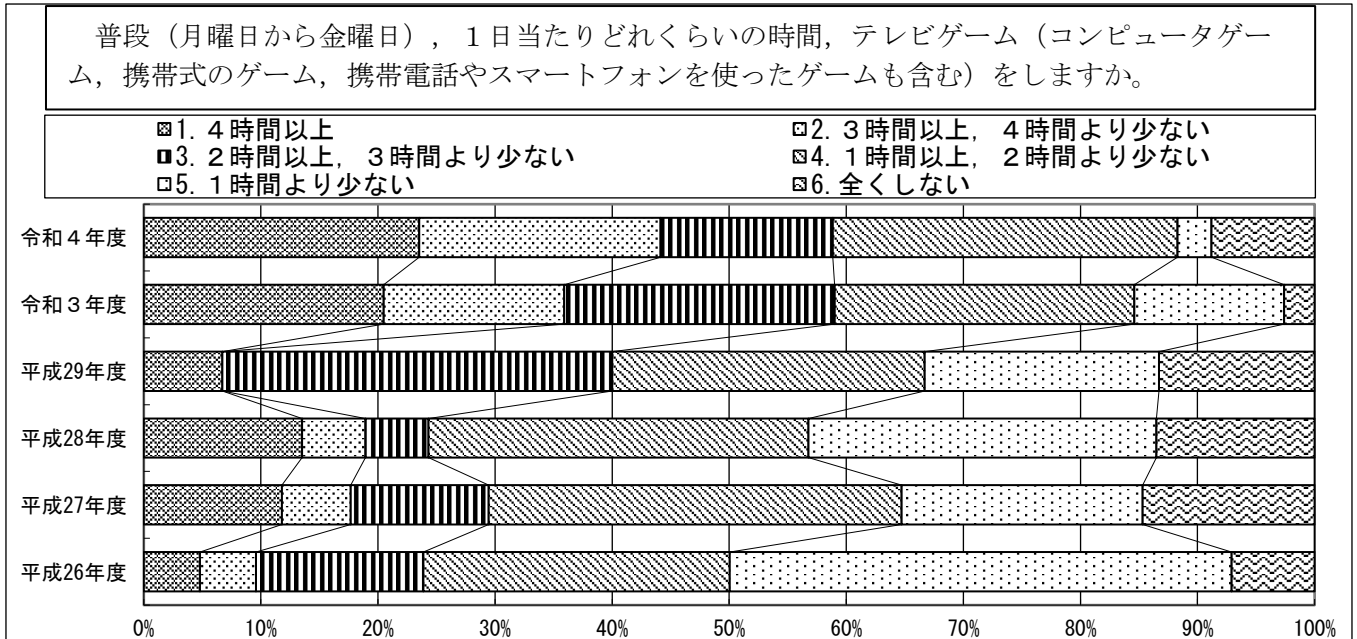
## 2 児童質問紙に関する調査結果から

### ① 本校の子どもたちの強みは。



自己肯定感が年々高まってきています。保護者・地域の方に大切に見守られ、肯定的に子どもたちの姿を受け入れていただいているお陰だと思えます。また、朝食の喫食率も少し低くなっていますが、約90%となっていて、朝しっかりと栄養を補給した状態で学校へ送り出していただけていることが分かります。

### ② 本校の子どもたちの弱みは



平日に約60%の子どもが2時間以上テレビゲームをしていることです。このことが、平日の家庭学習の時間が1時間未満(学年×10分)が約50%であることや、起床時刻・就寝時刻の乱れとして現れてきていると考えられます。

### ③ 今後の取組

教科の強みとして現れた「表現の効果を考える。」「文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。」は現在取り組んでいるサーチ学習の成果だと思えます。今後はサーチ学習と教科学習をより連携させ、学力の向上を図っていきたいと思えます。